

光教会を訪問しました

1月21日(木)「教会おじゃましますプロジェクト」の第一回として、光教会を訪問しました。19時開始にもかかわらず、7教会から28名の皆様方が集まってくださいました。

礼拝では荒瀬謙二牧師による奨励(ヨハネ1:5)を通して、光教会の名称の由来、そしてアルコール依存症患者向けの病院伝道に始まる光教会の歴史を伺いました。

続いて、茶菓をいただきながら、光教会の出席者3名の方々からもお話を伺いました。分かち合いの中では、このような交流の機会を持つことができたことへの率直な感謝が語られていました。次回は2月18日(木)19時より枝光教会で行います。



全国壮年大会を準備中



巻頭言にもありますように、8月19日(金)20日(土)と、西南女学院大学とシオン山教会を会場に、第51回全国壮年大会 in 北九州が開かれます。

1月23日(土)午後シオン山教会にて連合壮年会例会が行われ、8教会から19名の出席がありました。全国壮年大会のプログラム案と2月全国発送予定のポスター案が示されました。1日目の会場に西南女学院大学を使わせていただくことから、実行委員会では全国で活躍されているOGの皆様方の参加を見込んでいます。特に2日目午前全国壮年会連合の総会となりますので、西南女学院キリスト教センター、連合女性会のご賛同をいただきながら、女性向けオプションプログラムの準備を進めています。

遠方に住むお知り合いとの再会の機会として、全国壮年大会への参加を、今のうちからご計画いただけますと大変うれしく思います。

編集後記

「教会訪問記」が一巡したことから、広報担当に本山大輔牧師(豊前)を迎え、センターニュースの紙面を刷新しました。また今回から教会おじゃましますプロジェクトの連載がスタートしました。

新年度から宣教支援センターのFacebookページ、ホームページを始め準備を始めています。これまでのセンターニュースと共に、全国支援・地域協働プロジェクトのいまを発信してまいります。どうぞご期待ください。

次回予告

巻頭言:連合女性会長 児玉千ツ子姉(北九州教会)

2月・3月の予定

- 2月8日(月)連合役員会
- センター常任委員会(シオン山)
- 2月11日(木)連合2・11集会
- 「真の神を神とする」(シオン山)
- 2月13日(土)苅田教会伝道隊派遣
- 2月18日(木)教会おじゃまします～枝光教会
- 2月21日(日)東八幡教会教会組織60年記念感謝礼拝
- 2月28日(日)苅田教会伝道開始60年記念感謝礼拝
- 3月12日(土)連合壮年会総会(シオン山)
- 3月17日(木)教会おじゃまします～企救教会
- 3月21日(月)連合賛美集会(若松)
- 3月31日(木)～4月2日(土)連合少年少女会
- 春の修養会(シオン山)

連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュースレター

2016年
2月・3月 9号

発行責任者:山田雄次
発行所:〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田
2-1-40
Tel&Fax:(093)-651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局



第3回センター運営委員会報告
共に生きるために 東八幡教会
教会協働の輪を広げよう 臼杵教会
合同で新年礼拝 高須教会と芦屋教会
教会おじゃまします 光教会
全国壮年大会 in 北九州に向けて



連帯と祈り バプテスト北九州地方連合壮年会会長
第51回全国壮年大会実行委員長 梅木芳昭(大分)

2016年のお慶び、今年も主の祝福が豊かにありますようお祈り申し上げます。

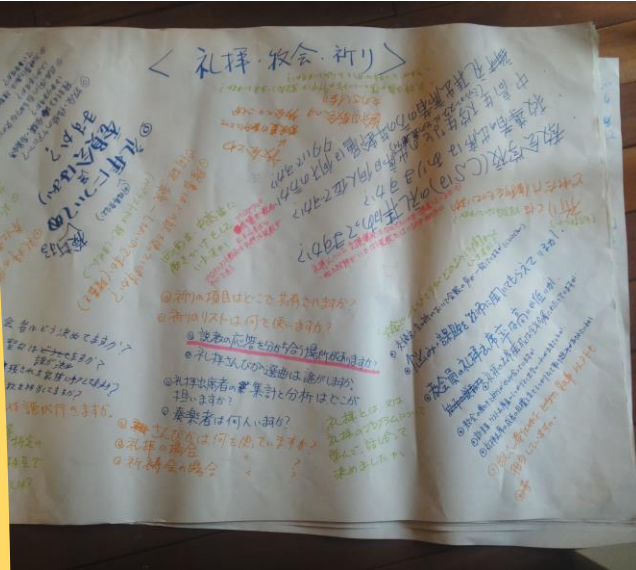
2016年8月、私たちは第51回全国壮年大会を、西南女学院大学とシオン山教会を会場として開催させていただき運びとなりました。全国壮年大会の歴史において、22年ぶりの北九州地区での開催となります。

主題は「連帯と祈り」。主題聖句はローマ人への手紙12:1。主題講演は田口昭典連盟理事長(金沢)にお願いしました。この主題は期せずして、連盟が協力伝道推進のために掲げている「自立と協力」というテーマにつながるものとなりました。

以下は田口先生からのアピールの言葉です。「協力こそ、孤立・自己満足・滅びから私たちを救い出す恵みです。バプテストは各教会主義です。だから『共に』が無くなったら、腐っていくのです。自らを他に開き、批判していただくことも、自らの命を健康に保つためにはなくてはならないことです。協力伝道こそ、バプテストの生きる道なのです。」

「主の山に備えあり」(創世記22:14)。西南女学院は、米国南部バプテストの支援により、女子教育と伝道を目的として1922年4月に創立しました。シオン山教会は、西南女学院に遅れること3か月、同年7月に創立され、今年で94年になります。山の城/西南女学院、シオンの丘/シオン山教会は、それぞれが北九州地方連合の中心的存在として立ち、光り輝いています。いずれも快く「第51回全国壮年大会」に会場を提供してくださいました。

全国壮年会連合は西南神学部・東京バプテスト神学校・九州バプテスト神学校の支援、そして退路を断って学ぶ神学生の奨学金支援を主な使命としています。「神学校献金」も大事。協力伝道も大事。「連帯と祈り」というテーマの中には、私たちの熱い思いが込められているのです。北九州地方連合では昨年からの宣教支援センターの働きが始まりました。連盟のルーツである北九州の地において、このタイミングで全国壮年大会が開かれることは、誠に意義深いことであると私は確信しています。全国からのお客様をもてなすために一致団結することが、壮年はもちろんのこと、北九州地方連合全体の課題となっています。どうか北九州地方連合に連なる皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。



1月17日(日)シオン山教会を会場に、**宣教支援センター第3回運営委員会が開かれました。**報告と協議が行われた後の時間に「教会の自己診断スケール」作りのための作業会を行いました。これは、それぞれの教会が自分たちの教会を再発見していただくための道具として、常任委員会が中心になって開発を進めているものです。

作業会は齊藤主事の進行により、「ワールドカフェ」の形式で、教会向けの質問文を出し

合っていただく作業に取り組みました。教会の働きを大きく8つに分類した「大項目」ごとにテーブルの島をつくり、各テーブルに5名前後の皆様に入っていただきます。カフェのような話しやすい雰囲気を生み出すためには4名がベストなのですが、今回は参加された皆様方の数に合わせて、おおむね5名としました。

教会の自己診断スケールの作業会が開かれました

テーブルの上に置かれた模造紙に次々と質問文が書き込まれていきます。20分間のセッションのあと、一人のホストを残して、残りの皆様方は別の島に移っていただきます。ホストはリーダーではありません。前のメンバーがどんな話し合いをしていたのかをレポートする役割を務めます。

報告が終わり次第、2回目のセッションが始まりました。他のテーブルから来た方々が、花に集まるミツバチのように他花受粉をしてくださることで、テーマが深まり、新しいアイデアが生まれて来ます。

当日は4回のセッションをしましたが、3回目からは齊藤主事が投げかけをしなくても、自然発生的に話し合いが進んでいました。セッションごとにマジックの色を変えることで、前のグループが書いた質問文を添削する姿も多く見られました。参加された方からは「自分の教会の常識が必ずしもそうではないことに気付かされました」。「対話を楽しみながら、新たな気づきが与えられた事がよかった」等の感想をいただきました。

スケールは3月中旬に完成させて、各教会にお届けすることができるように、作業を進めます。完成したスケールに取り組まれるときの教会研修会には、導き手として齊藤主事をお招きいただければと思います。



小さくされている方々と共に生きるために

東八幡教会は年2回、小倉・勝山公園で行われる炊き出しの弁当作りに協力しています。12月18日(金)午後、いのちと平和委員会の主催で、炊き出し弁当作りが行われました。メニューは恒例の牛丼です。

弁当調理の休憩時間に合わせて、NPO法人抱樸の森松長生専務に来ていただき、ホームレス支援の現状報告を受けています。弁当を貰いに来られる方々が置かれている現実を知り、私たちに何ができるかをお互いに考えるための、生きた学びの時間になっています。越冬期の毎週金曜日の炊き出し支援は2月末まで続きます。

教会協働の輪を広げよう

昨年11月25日に連盟教会音楽室から発行されたニュースレター「礼拝さいこう」No.9-2号に、臼杵教会が別府国際教会と協働して取り組んでいる「奏楽者講習会」のレポートが掲載されています。もうお読みになられたでしょうか。

まず別府国際教会の藤原晴美姉がどのような思いで、主日礼拝の奏楽に臨んでこられたかを伺い、その上でレッスンをするという内容の研修会であった事が、松永智恵美姉の文章からよく伝わってきました。

これからも継続して奏楽者研修会をなさるとのこと。北九州地方連合の教会どうしの関わりの中で、新しい地域協働の取り組みが生まれているかもしれません。皆で覚えて祈りを合わせたいと思いますので、センター事務局までお知らせください。

高須教会&芦屋教会 合同新年礼拝

1月3日(日)高須教会を会場に、高須教会と芦屋教会の合同新年礼拝がささげられました。双方の教会は遠賀川を挟んで、車で10分程の近い距離にあります。当日は大人35名、子ども3名の計38名が出席しました。その内、芦屋教会からの参加者は8名でした。

今回の合同礼拝は、芦屋教会からの要請に高須教会が応える形で、初めて実現しました。共に三上渡牧師の宣教を聴き、報告の時間には芦屋教会からいらした方々を歓迎する時間を持ったとのこと。「近くにあるバプテスト教会として、これからも交流を続けていきたい」とのことでした。

